

令和3年2月25日

東金市長 鹿間 陸郎 様

東金市総合計画審議会  
会長 久保田 曄

東金市第4次総合計画について（答申）

令和2年3月27日付け東企企第169号で諮問のありました掲題について、本審議会において慎重に審議を重ねた結果、別紙の東金市第4次総合計画基本計画編（案）を適当であると認めましたので答申します。

なお、本審議会においては、答申をまとめる過程で様々な意見交換がなされましたが、今後、総合計画を運用していくにあたって、下記の事項について特に配慮いただき、目指すべき将来像に掲げた「豊かな自然と伝統を守り 未来へ続くMy City東金」の実現に努められるよう要望いたします。

記

- 1 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う健康や社会経済生活への影響は深刻であり、前期基本計画期間はコロナ禍からの復興を期する取組みが集中的に行われていくことが予測される。この社会情勢の急速な変化には、特に迅速かつ強力に対応するよう努められたい。
- 2 今後、デジタル庁の創設に伴い、国のデジタル化施策が急速に進展すると考えられる。他の自治体に先駆けて、高度デジタル通信環境等を導入することで、企業誘致や転入促進のインセンティブになることから、国の動きを注視し、いち早くデジタル化に取り組めるよう準備に努められたい。
- 3 経営重点戦略に位置づけられている企業誘致や産業用地整備などは、市単独ではなく国・県と連携して進めていく必要があると思われる。特に県とは密に連携し、現在、県が策定している千葉県総合計画とも施策の整合を図り、事業を推進するよう努められたい。